

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	R6年10月1日		～ R6年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	R7年2月1日		～ R7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	R6年9月1日		～ R6年12月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童発達支援センターのため、児童発達支援(母子通所)と計画相談があり、連携を図って対応ができる	・職員同士の情報共有、意見交換を日常的に行っている	・事業開始してから4年目ということのあり、さらに経験と実績を増やし、他機関との連携も行っていく
2	・経験豊富な心理士がおり、子どもの支援・保護者の支援共に手厚く行える	・希望があれば面談を行って心理的サポートを行っている ・心理士が中心となってペアレントトレーニング、保護者の勉強会等を定期的に行っている	・保護者のニーズを聞きながら保護者の勉強会等を企画していく予定
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・運営母体の社会福祉協議会が事業をいくつも行っているため、職員の異動がある	・職員がいろんな事業を経験することで、技術や質の向上を行っている	・職員が変わっても技術や質が大きく異ならないような人員配置を行っていく
2			
3			